

平成 24 年度第 1 回秩父市地域公共交通会議 会議録

とき

平成 25 年 2 月 8 日（金）午前 10 時 30 分～

ところ

秩父市役所歴史文化伝承館 2 階庁議室

出席者

委員 10 名（欠席 3 名）、事務局 4 名

内容

1. 開会

2. 会長あいさつ（会長：横井副市長）

3. 議事（議長：会長）

（1）秩父市営バス「浦山線」、「川又線」の自家用有償旅客運送登録の更新について

事務局より資料により説明。

・平成 25 年 3 月 31 日で有効期限が満了となる秩父市営バス「浦山線」および「川又線」の自家用有償旅客運送登録の更新について、道路運送法第 79 条の 6 および同法施行規則第 51 条の 10 の規定に基づき観光運輸局へ申請したい旨説明。

・「秩父市営バスの概要」について説明し、運行継続に向けての審議を依頼。

これに対し、議長は委員に意見を求めた。

委員：浦山線の運賃収入が年々減少しているが理由は。

事務局：利用人員の減少に伴うものだが、理由については不明。

委員：理由を調査し、示す必要があるのでは。

事務局：了解した。

委員：経費で見れば赤字、市の財政も厳しいとは思いますが、高齢者が多い地元住民の足の確保という意味で、ぜひとも継続をお願いしたい。

委員：通院する住民の足を確保する必要がある。継続を希望する。

委員：福祉事業や教育施策と同じで、利益の面だけは語れない部分がある。生活インフラとしての必要性が求められているため、ぜひ継続をお願いしたい。

委員：継続はお願いしたいと思うが、利用人員減少の原因を調査し、今後 P R 方法等を検討する必要があるのでは。

事務局：今後のダイヤ見直し等も含め検討したい。

議長は、委員からの意見が出尽くしたところで、秩父市営バスの自家用有償旅客運送者登録の更新について、本会議で「合意に至った」ことを了承するか委員に諮った。

⇒委員から反対意見もなく、協議が調ったことが承諾された。今後更新手続きを進め、スムーズな運行ができるよう準備することとした。

4. その他

委員：三十槌の氷柱の件で、三峯神社線が「三十場」（バス停）に停まるので、観光客に喜ばれている。引き続き市でのPRをお願いしたい。

他に意見はなく、以上で協議を終了し、会長は議長の座を降りた。

5. 閉会